

明治七年

(二月)

一月一日

元旦、御吉例之通御規式も相済候也。終日終夜雪。此日、雪ニテ礼者不来。

(二月) 二日 晴。

雪五寸積ル。礼者来ル。試筆モ相済候。

(二月) 三日 晴、曇。

朝ヨリ花蹊、人力車ニテ年礼ニ廻ル。先石山家へ行、夫ヨリ風早家へ行、暫ひ間取、番町之坂高低雪泥人力車不動、大ニ困り候。土御門家へ行、夫ヨリ三条家へ行、暫ひ間取、中山家へ行、万里小路家へ行、三条西家へ行、日暮ル。夫ヨリ駿河台山田へ行、帰殿ス。

*ひ間(暇) *ひ間(暇)

(二月) 四日 晴。

終日放業。水野大助来。

(二月) 五日 晴。

朝、中山仲姫さま、御出也御出也御出也五時頃。長谷川珍水来。正親町春香姫さま、鍾さま、大谷木、田中島、桐淵二人、山田富、土御門様、長子、花山、万里小路伴さま、よし姫さま御入門、ため女来り候。終日大困雜也。日暮相済候。此夜、種物ニテ、スイ蛭掛ル。正親町家より交肴来。桐淵より海苔来。土御門よりシヤケ二尾、帶留、湯盤来。長子より、みかん、花の露到来。花山より半袴、生たら到来ス。万里家より交肴到来。

*大困雜(大混雑) *種物(腫物) *シヤケ(鮭) *生たら(生鱈)

(二月) 六日 晴。

此朝七時、礼服用ニテ芝大神宮へ出張可致様ながら、千よ滝身次ニ成、花蹊右種物ニテ不参、長子計出張いたし候。十二字後、父君と同道ニテ牛込北山伏町長谷川珍水方へ発会ニ行。殊の外盛会。五時過、帰殿ス。此朝、川島治郎助来。此日、独逸え報知ス。飯尾来、みかん一籠到来ス。

*種物(腫物)

(二月) 七日 晴。

朝、長子来。昨日、芝出張之儀者、四柱神御遷座ニテ行列ニ加リ候よし也。花の、勇子来。万里小路家素真様、両姫連テ御出也。宗家ヨリ使来、御着到来。三条西正二位様御使来、鴨到来ス。三条家より大谷年始来ル。大谷木ヨリ菓子到来。杉山ヨリ越の雪一箱到来。竹の内ヨリ砂糖到来。桐淵道齋来、海苔到来ス。夜、輪講ス。十二字迄也

(二月) 八日 晴。

半日揮毫ス。麻布小梅来、唐紙五葉到来ス。安井より砂糖一箱到来ス。井上来。夜、輪講ス。三浦来、診察ス。中山、正親町、福田所勞也。

(二月) 九日 曇。

ゆか来。三浦来、診察ス。夜、輪講ス。

(二月) 十日 晴。

池上武太郎入門ス。牛込山形友治郎、菊女来。画稽古ニテ終日。桐淵、長子、富女、大岸常盤来ル。菊女一宿ス。

(二月) 十一日 晴。

照子、角子、若よ、年礼ニ来ル。花蹊、対州え年礼ニ行候処、御年酒ニテ九条公、大原御客ニテ十字頃迄也。帰殿ス。此日、伊達千尋、花の来。よし姫さま、和歌之御入門遊し候。

(二月) 十二日 曇。

宗従四位様御出也。御煉羊羹一箱到来ス。三字頃より、よし姫様、伊達え成らせられ候。撰齋、

千代滝、花蹊、御共也。六時、御帰殿也。夜、輪講、二時頃迄。

*御共(御供)

(二月) 十三日 雨、又晴。

池田家司、年礼ニ来り候。朝倉松齋来。三字頃ヨリ、よし姫さま、万里家え成らせられ候。花蹊御共也。御子達御教受(授)して五時頃帰殿候。松岡時懋来、菓子到来ス。

*御共(御供)

(二月) 十四日 雨。

万里小路家ため女来、伴姫さま、桃姫さま御寄宿之義ニ付頼来り候。菓子到来ス。此夜、岩倉具視、赤坂より退出かけ、何者とも不知手鐘ニて切かけ、二ヶ所疵うけられ候よし、未夕何事とも不明。

*義(儀)

(二月) 十五日 曇、夜雪。

画稽古日ながら皆々不参。長子来。常盤来。杉山晴翠来。

(二月) 十六日 雨。

終日揮毫。

(二月) 十七日 晴。

飯尾包敬来。午後、万里小路千代姫さま、伴姫さま、桃姫さま、ため女御共ニて成らせられ候。

此日ヨリ両姫さま、御寄宿也。五字頃、御帰殿也。長子、勇子来。梅津来。外務省ヨリ使来。

*御共(御供)

(二月) 十八日 晴。

此日、女教発会ながら、井上頼国家内死去ニ付、延引ニ相成候。千世滝、長子、中教院え井上悔みに行候。花蹊、終日揮毫ス。松岡来。

(二月) 十九日 晴、風。

終日揮毫。花野来。正親町家ふて女来。

(二月) 二十日 晴。

画稽古日ニテ山田富女、長子来。大岸来。水野真澄来。夜、花蹊、父様、石山家え病氣見舞ニ行、十一字帰殿ス。又揮毫ス。

(二月) 二十一日 晴。

朝、万里家素真様御出、伴、桃様御帰殿也。山田富女来。細川娘入門頼ニ来ル。

(二月) 二十二日 晴。

半日画。三時ヨリ、花、万里家え稽古ニ行、五時帰殿候。夜、牛込神楽坂辺出火。

(二月) 二十三日 晴。

此日、本郷春木町え行、終日遊ぶ。五時、帰殿ス。此日、正親町家令松永行義、近火礼ニ来られ候。上州館林かね社兄、年礼ニ来、書頼候。西京栄玉堂より書状来ル。

*社兄(舎兄)

(二月) 二十四日 晴。

終日画。かね社兄又来ル。山田富女来。長谷川珍水来ル。終日画。

*社兄(舎兄)

(二月) 二十五日 晴。

画稽古日。桐淵登女、上州人來。長子、富女來。常盤來。水野真澄來。

(二月) 二十六日 晴、大風。

朝、上野松源ニテ書画展観ニ行候はつゝの処、俄に差支候テ徳大寺家え行候処、御風邪ニテ不逢、帰殿ス。午後ヨリ塾生連テ万国目鐘見物ニ行、石山家え見舞に行候。長谷川久徴來、てつ女入塾之義申入候得共、涙ヲ流し大悦候也。

*はつ(筈) *万国目鐘(万国目鏡) *義(儀)

(二月) 二十七日 風。

長子来。終日画。此夜、極、島屋え額面之義ニ付行候。

*義(儀)

(二月) 二十八日 晴。

終日揮毫ス。

(二月) 二十九日 晴。

終日揮毫ス。

(二月) 三十日 晴。

画稽古日。山田富女、長子、大岸元琴来。終日也。

(二月) 三十一日 晴。

此日、花野来。コテ／＼之咄しニテ長子モ来合ス。正親町家松永来ル。

(二月)

二月一日

早朝ヨリ、典、岸城花の方へ行、種々咄し候処、花のも大悦候也。此日午十二字ヨリ本郷へ行。

終日也。父さま、千世滝、花蹊、典、愛治郎也。池之端出火。

*岸城花(木城花)

(二月) 二日 晴。

朝、細川熊衛入門ス。母親、山田富女来。朝、花の、長子来。銀座島屋へ行、額面看板認ニ行候。夕景、帰殿ス。

(二月) 三日 晴。

三条西正二位様、伊勢え御出立ニ付、御暇乞ニ饒別持参いたし候処、御留主ニテ若殿様え行、夕景迄語ル。此時、正二位様御帰殿ニテ、御暇乞いたし帰殿ス。此日、本多家扶遠藤某正惠、奥方歌入門頼ニ来り候得共、御断申入候也。

*正惠(マサノリ)

(二月) 四日 晴。

終日揮毫ス。山田富女来ル。此日、よし姫様御風邪ニテ御引籠也。

(二月) 五日 晴。

画稽古日ニテ桐淵操、登女、山田富女、長子、細川家内来ル。上州館林人来ル。大坂百足屋孫右衛門より書状来ル。大坂楚山先生より(以下、記述ナシ)

(二月) 六日 晴。

稻荷様御祭典行れ候。三時頃より父さま、花蹊、典、通り込え買物ニ行、夕景帰殿ス。

(二月) 七日 大風。

一時頃ヨリ仲姫様と同道ニテ中山家え行、夫ヨリ三条家え行。石山家より染筆御挨拶物持参いたし候。輔相様末夕還御なく候ゆへ、奥方え相渡し置候。夫より万里家稽古ニ行、又中山家え行、暫して帰殿ス。四時頃也。此日、留主中、本多さま奥方御出ながら早々御帰り也。

(二月) 八日 晴。

女教発会也。井上、松岡、長子、花野、角子、若代来。直餐祝、酒肴ニテ五時過迄。此日、大坂星平三郎、辻八千子さまよりの鯛味噌持参ニテ尋ね来られ候。本多奥方書画の入門致され候。此夜十一時頃より久保町辺出火。

(二月) 九日 晴。

長子来。山田富女来。此日、伊邪那伎命祭典行レ候故ハ、昨夜千代滝、太田賀神鳥と化テ自ラ

千世滝の膝にまし／＼て公義君ノ御無事留学勉強の事告給テ猶公義を守護いたし候様と仰せられ、夫ヨリ花蹊の机の上ニテ書ヲ揮毫被遊候ヲ夢ニ見て、夫ヨリ御内一統大悦ニテ祭典致し候也。榮玉堂筆代金十弍両差出し候。外務省ヨリ絹本二十枚来ル。

(二月) 十日 雨。

画稽古日ニテ、長子、富女来。正親町家令松永来ル。蒲生重章来。此日、大教院より、明後十二日達義有之候間、午前十時出頭申上候。万里小路良子殿え。

*義(儀)

(二月) 十一日 雨、又晴。

昨夜、桜田内出火。此朝、浜町え行。寿様、父様、千世滝、花蹊、典也。此日、万里家御使として素心様御出ニテ、此度桃姫さま当家えもらい受ニ相成候事ニ付、実に太輔様外さま御一統御悦ニは候得共、何分ニも桃姫事は眼もあしく此方ニても難義物故姉家ニても同様の事故如何とひとく御あんしニ付、急度御もらい下され候哉応対に御出ニテ候得共、何分みな／＼留主中故帰り候得は御返し可申入筈とて、よし姫さま御逢遊し候也。

*太輔様(大輔様) *難義物(難儀物) *御あんし(御案じ)

(二月) 十二日

此日、巴女来、一宿ス。此夜、浄瑠璃ニテ隣家の人々来り候。

此日、千よ滝、万里家行の処、太輔様御留主ニテ素心外皆さまえ御めニかゝり、桃姫さまは実は花蹊戴度ながら主人の御筋故ニテ姉小路家え戴候。しかし御主人御留主中故、内々御申受、主人帰朝之上表向の事と申上、帰り候也。

*浄瑠璃(浄瑠璃) *太輔様(大輔様)

(二月) 十三日 雪、三、四寸計。

女教集会。松岡、長子、花の計也。花蹊、風邪ニて臥。此夜も巴女浄瑠璃有。

*浄瑠璃(浄瑠璃)

(二月) 十四日 晴。

此夜も巴女浄瑠璃有。山田とみ女来ル。此日、万里さま御使にて素心様御出にて、桃姫此度姉家之所望ニ依、御もらい下され候様、実にく一統大悦ニ候。しかし姉小路さま御留主中故、御帰朝之上御不承知ならば、花蹊にもらいくれ候様と仰せられ候。先々桃姫さま弥御申受結約いたし候。

*浄瑠璃(浄瑠璃)

(二月) 十五日

此日、画稽古日にて桐淵二人、山田富女、長子来ル、終日也。三条西若殿御出也。巴女、沢家え行、五時頃帰り一宿。此日、独乙公義公ヨリ書状来ル。

(二月) 十六日 晴。

朝、飯尾包敬来。長谷川久徴来。藪様御主人御出にて御姫様御二方**教授**御頼み遊し候。此日、巴女、花山連て前橋え行候也。花山、此日五時帰り候。

*教授(教授)

(二月) 十七日 晴。

終日揮毫ス。よし姫さま、千広え成らせられ候。

(二月) 十八日 晴。

女教集会。此日、大人数来ル。小石川渡辺章と申人來、一面談ス。花蹊、本多家え行、康姫さま書画稽古して、五時頃帰殿ス。

(二月) 十九日 雨。

終日揮毫ス。河内築山幸三郎、此度興正寺法主之供ニテ来り候とて尋問いたし候。面談ス。**松本風湖**来、画帖物渡ス。山田富女来。

*松本風湖(松本楓子)

(二月) 二十日 晴。

画稽古日ニテ桐淵兩人、山田富女、長子来。駿河台小河ます子入門ス。**本庄坪内墨川**発会頼み

に來り候。老泉俊藏、画頼みに來ル。此日、独逸公使え箱包託し候。松本楓湖紹介也。浅草苔、松魚之類種差出し候。父様持參致され候。此日夕ヨリ仲姫さま御所勞也。

*本庄(本所) *浅草苔(浅草海苔)

(二月) 二十一日 雨。

千石來ル。午後、藪家え行、又山田え行、夕方帰殿ス。

(二月) 二十二日 晴、雨。

此日、独乙え報知ス。よし姫様、千広え成らせられ候。築山幸三郎來。

(二月) 二十三日 雨、風。

女教集會。松岡、燕子、吟子、角子也。此日、濃州人老泉俊藏画帖取ニ來ル。

(二月) 二十四日 晴、又雨。

此日二字過ヨリ三条家え行、夫ヨリ万里家え行、稽古して中山家え行、夫ヨリ三条西家え行。此朝、三条西若殿御出也。明二十五日、大坂堺大鳥神社え御出立也。御暇乞ニ行候也。

(二月) 二十五日 晴。

画稽古日ニテ桐淵兩人、山田富女、平田長子來ル。終日也。此夜、雪。

(二月) 二十六日 晴。

終日画揮。

*画揮(画揮)

(二月) 二十七日 晴。

終日画揮。よし姫さま、千広え成らせられ候。撰齋、千よ瀧御供也。山田富女來ル。

(二月) 二十八日 晴。

女教集會ス。本多家え行、稽古ス。此日、飯尾母來。子供連テ帰り候。

(三月)

三月一日

此日より放業。三日之間ニテ塾生徒皆々宅え帰り候。土御門、福田、山形、長谷川四名は不帰候。此日、藪家え行、稽古ス。文姫、峰姫、繁姫三名入門致され候。四時、帰殿ス。此日、桃姫さま御そたて申候高野ト、来り候。

(三月) 二日 雨。

よし姫さま、千広え成らせ候。撰齋、千よ滝御共也。終日揮毫ス。山田富子来。石山菊姫さま御出也。すか女御共也。四時頃迄。

*御共(御供) *御共(御供)

(三月) 三日 晴。

女教集会。松岡、本郷二輩来。仲姫さま御帰り。正親町さま御帰り、おはまさま御共也。勇子シヤクニテ大困雜也。

*御共(御供) *シヤク(癩) *大困雜(大混雜)

(三月) 四日 晴、大風。

此日、高橋かね来、一宿。花蹊、万里家え稽古二行、又中山家え行、本多家え行、五時帰殿候。此日、万里三谷来ル。山田富女来。

(三月) 五日 大晴。暖。午後あられ降、又晴。

画稽古日ニテ、桐淵兩人、山田富女、平田長子来ル。田中甲斐之助、日高秋山会ヲ頼みに来、揮毫ス。

(三月) 六日 晴、風寒。

終日揮毫ス。小川町本郷来。尼ヶ崎の人来ル。

(三月) 七日 雨。

終日揮毫ス。よし姫様、千広に成らせられ候。撰斎、千よ滝御共也。
*御共(御供)

(三月) 八日 晴。

女教集会。日尾直子、燕子、花の、角子来。花蹊、藪家え稽古に行。渡辺章来。

(三月) 九日 曇、亦雨。

此日、藪家文姫さま、嶺姫さま入門致され候。花蹊、二字頃ヨリ万里家え稽古二行、亦本多家え行、六字帰殿ス。此夜、京師蓮さまより報知有。

(三月) 十日 雨。

画稽古日ニテ、山田富女、細川家内入門致され候。平田長子来。長谷川十右衛門、外務省掛ヨリ画頼みに来り候。

(三月) 十一日

終日揮毫ス。在宅。

(三月) 十二日

終日揮毫ス。良姫様、千広え成らせられ候。撰斎、千よ滝御供也。

(三月) 十三日 晴。

女教集会。花の、長子、勇子也。十五日中教院ニテ神社落製祭典被行候筈ニテ、女教師一統え廻章差出し候処、又延引ニテ断廻文差出し候。此日、山田富女来。千よ滝さま同道ニテ山田え行れ候。

(三月) 十四日 晴。

二字頃ヨリ、よし姫さま、花蹊御共、三条様え成らせられ候。夫より万里家え成らせられ候。

五字、御帰殿也。此日、築地鴨鶴来り候。

*御共(御供)

(三月) 十五日 晴。

画稽古日ニテ、桐淵二人、山田富女、宗奥方、鞍懸田鶴女来、終日也。大星徳二来ル。

*大(大坂)

(三月) 十六日 雨。

朝より浜町へ行、終日也。寿さま、父さま、千よ滝、花蹊也。

(三月) 十七日 晴。

十二字ヨリ、よし姫さま、千広え成らせられ候。撰斎、千よ滝御供也。

(三月) 十八日 雨、雪、霰、地震。

終日揮毫ス。此日、大坂星徳次旅宿干物町伊勢屋安兵衛方え辻行書状持参して行候。星氏不在
ニテ空しく帰り候。

(三月) 十九日

終日揮毫ス。

(三月) 二十日 雨。

画稽古日。山田富女、細川家内、長子来ル。此朝、須田弘、風早愛姫手本頼二来ル。此日、調
練場ニテ男ノ子、犬ニカマレ候。

(三月) 二十一日 晴。

終日揮毫ス。万里小路千世姫さま成らせられ候。大宮御所え御参相談ニ御出也。此日、調練場
ニテ十二歳ノ女、犬ニカマレ候。

(三月) 二十二日 雪。

終日揮毫ス。

(三月) 二十三日 雪、亦雨。

画稽古日ニテ、山田富女、細川家内来ル。講習所老人モ不来也。

(三月) 二十四日 晴。

終日、大宮御所参り之拵也。此日、中教院井上頼国ヨリ祭典四月一日治定のよし申来り候。

(三月) 二十五日 小雨。

十時頃ヨリ良姫さま御出門。花蹊御供ニテ万里さまえ成らせられ候。一時より万里さま御出門ニテ良姫さま、千よ姫さま、大宮御所え御参也。蓮香、田鶴、花蹊御共也。大宮様御対面あらせられ候。夫より御庭拜見仰付られ候。いろ／＼御品々御菓子等御拝領也。浜荻典侍さまニテ御馳走ニテ、六時御退出也。御門前ニテ万里さまと御別れ申、雨中御帰殿也。七時也。

*御共(御供)

(三月) 二十六日 大雨、午後晴。

日高秋山会中村楼え行。寂寞、午後少々人出候也。二時頃、墨川方え行、不在。即帰殿ス。三時也。此日、石山家年酒、初午本服祝ニテ御招也。よし姫さまならせられ候。撰斎、千よ滝、花蹊御客也。十一字、帰殿ス。

(三月) 二十七日 雨。

終日揮毫ス。長子来。有澄来。高洲ヨリカリ置候梅道人卷、持帰り候。

*カリ(借り)

(三月) 二十八日 雨。

女教集会。冷泉、花の計也。

(三月) 二十九日 雨。

終日揮毫ス。

(三月) 三十日 雨、亦晴。

画稽古日。山田富女、細川政、長子也、終日。此日、大坂水島均来着ス。

(三月) 三十一日 晴、又小雨。

終日揮毫ス。

(四月)

四月一日 晴。

中教院祭典ニ付、女教師一統出勤。良姫様、千代滝、花蹊も也。父さま御供。五時、相濟候テ御帰殿也。

(四月) 二日 晴。

終日揮毫ス。

(四月) 三日 晴。

朝ヨリ本郷え行、終日也。此日、近藤礼太郎、銹治郎、木村友吉入門ス。大坂上田かめ女、東着シテ土産物遣し候。

(四月) 四日 晴。

十二時より父さま、千よさま、花蹊、車ニテ浅草え参詣、大般若上ル。夫ヨリ父さま、花けい、三谷藤浪え行。上田氏かめ女ニも面会ス。五字、帰殿ス。

*花けい(花蹊) *三谷(山谷)

(四月) 五日 晴。

画稽古日。山田富女、長子也、終日。三輪修三入門ス。

(四月) 六日 晴。

朝、三十軒堀三村清左衛門方へ行。上田氏かめ女も同道ニテ島原へ行、終日也。夜九時、帰殿ス。

*三十軒堀(三十間堀)

(四月) 七日 晴。

終日揮毫ス。

(四月) 八日

女教師来会、終日也。終日揮毫。

(四月) 九日 晴。

終日揮毫。

(四月) 十日 晴。

終日稽古日ニテ、山田富女、細川政女、長子。巡查長崎嶮蔵入門ス。

(四月) 十一日 雨。

雨中ながら山田時章、同富女、父さま、千よ滝、花蹊、五輩水道橋ニテ乗船向島へ行。雨益甚シク、中村楼え上り、半仙画会也、夫ヨリ又船中ニテ。花満開、真ニ妙也、暫留船。夫ヨリ帰路之船中、実ニ面白キ事也。雨益ひとく相成、七時着船。先々不難ニ帰殿ス。此夜、芝辺、今深川辺、出火也。

(四月) 十二日 晴。

女教集会。深川照熊来ル。三時、引ル。

(四月) 十三日

終日揮毫ス。

(四月) 十四日 晴。

二時ヨリ万里家え稽古に行、夫ヨリ本多家稽古二行、六時帰殿。

(四月) 十五日 雨。

画稽古日。山田富女、細川政女、長子来、五時迄。浪花上田長治郎、かめ女、小はつ連テ来り候也。

此日、よし姫さま、もゝ姫さま御共父さま、千よ滝さま、きみ也、福田花見ニ成らせられて、六時帰殿。

*御共(御供)

(四月) 十六日 晴天、亦雷鳴、大霰。出火。

終日揮毫ス。午後二時ヨリ細川え行、暫遊ぶ。四時、帰殿ス。揮毫ス。此日、出火。此日、愛治郎帰殿ス。此日、柳島かま女入門ス。

(四月) 十七日 晴。

朝ヨリ父様、千よ滝、典、愛治郎、水島、二丁目え行、放棄。夫ヨリ引返し中島座え行。終日也。此日、福田政治郎、きみ送来り候。尼ヶ崎武右衛門来。西本さつ来ル。終日揮毫ス。

(四月) 十八日 晴天、夕立ス。即止。

終日揮毫ス。大坂サマ宮司渡边来。水野真澄来。尼ヶ崎武右衛門、山田富女、花園ト、来。女教講習所集会日。久米不来候。

*サマ(座摩)

(四月) 十九日 晴。

午後十二字ヨリ万里家え稽古二行。不在。夫ヨリ本多家え行、稽古して帰殿ス。

(四月) 二十日 晴。

画稽古日ニテ、山田富女、長子、(花)の来、上田亀女来、又寺島謙山、内藤家女誘引シテ来り、尼ヶ崎武右衛門来。夜、山田時章来。此日、蓮観院さま便来ル。

(四月) 廿一日 晴。

終日揮毫ス。

(四月) 廿二日

終日揮毫ス。

(四月) 廿三日 雨。

終日揮毫ス。

(四月) 廿四日 晴。

午後より、よし姫さま、桃姫さま、花蹊三人連ニテ桐淵へ行。桃姫さま、右の御眼中星入候て大めに心配いたし候。其手当してくれられ候。夫ヨリ万里家え成らせられ候。太輔様、薩州より御帰京の御悦ニ成らせられ候。夕景、御帰殿也。花蹊は先ニ銀座福田迄行、父さまト同道ニテ絵の具調に行候。千代滝さま、万里家え御迎ひに來られ候。

*太輔様(大輔様)

(四月) 廿五日 晴。

画稽古日。山田富、細川政、長子、風早愛子初て來られ候。風早殿も來り候。石山須田來り候、終日也。山田時章、夕景來られ候。此朝、小石川渡辺赤堂篆刻師來り候也。

(四月) 廿六日 晴天。

終日揮毫ス。俄に雷鳴、大霰 [凶] 如形也。大變也。一寸位積候。

(四月) 廿七日 晴天。

終日揮毫。よし姫様、父さま、千よ滝さま、千広え成らせられ候。又夜雨、雷鳴。

(四月) 廿八日 晴。

女教集会。桐淵道齋來り候。桃姫さま、御眼星取レ候。此日、独乙殿様より客冬十二月廿九日

出御報知着当候。先々御機嫌の御様子ニテ安心いたし候。

(四月) 廿九日 晴、大風。

一時ヨリ花蹊、三条家え帛紗揮毫出来ニ付、持参ス。夫より万里家え行、稽古して、又本多家え稽古ニ行、四時帰殿ス。

(四月) 三十日 晴、四時半頃より大雷、大雨。

画稽古日ニテ風早愛子、桐淵二人、山田、長子。小河ちか子入門ス。五時頃、皆転座。夫ヨリ山田来。水道町料店え行、十字頃帰殿ス。山田夫婦同道来遊。

*料店(料理店)

(五月)

五月一日 晴。

朝ヨリ本郷え行、五時済、帰殿ス。

(五月) 二日 晴。

終日揮毫ス。松岡来、御茶水口屋来ル。よし姫さま、千広え成らせられ候也。

(五月) 三日 晴。

女教集会日。本多正憲、女教掛りニテ出張致され候。花蹊、終日揮毫ス。

(五月) 四日 晴。

午前一時ヨリ花山同道ニテ宗家え行、稽古ス。夫ヨリ本多家え行、稽古ス。六時、帰殿ス。

(五月) 五日 晴。

生徒休業。花蹊、終日揮毫ス。画稽古日ニテ山田富、細川政、桐淵二人、長子来。

(五月) 六日 晴。

聖堂え書画展観見ニ行、二字帰殿ス。飯尾家内三人連ニテ来ル。暫して帰り候。

(五月) 七日 晴。

終日揮毫ス。

(五月) 八日 雨。

女教集會。終日揮毫ス。此夕、富士見町三丁目一番地桂太郎より独乙殿様より文来着ス。三月御出しの書状也。此夕景、後藤愛子、[六三四](#)致シ居り候処、きみ事教候へは夫をいかゝといふていかり候て、きみ事あやまり候へは其脊中えふみ乗候て、泣候へとも猶[六三](#)に上ヨリおさへ候へは、きみ息たえ気も不付、此時山田富女来居られ候。夫ヨリ薬よ水よとて家内中打寄、大く驚、医師えかけ付候処、早速来葉の手当もいたし候処、漸正氣ニ相成、始テ安堵の思ひをなし候事也。夜十時也。夜、徹夜ス。

*六三四(むさし) *いかり(怒り) *六三(無算)

(五月) 九日 晴。

早朝ヨリ井上こう女呼に遣し候。後藤愛子、市ヶ谷え送らせ候也。此日より追逐也。二字頃、井上こう来、逐一愛子之次第申聞、夫ヨリ、こう女市ヶ谷えかけ付候也。此日夕景、きみ女始メ足立候て、皆々大悦く、祝酒いたし候。

(五月) 十日 晴。

画稽古日ニテ風早愛子、山田富女、細川政女来ル。五時済。松岡来ル。

(五月) 十一日 晴。

十二時ヨリ浅草三谷藤浪え上田かめ女尋ねに行候処、当月一日帰坂いたし候よしニテ、乍残念帰り候。此時、駒かた岸田え御霊代箱袋仕立誂に行候。六字、帰殿ス。

*三谷(山谷) *駒かた(駒形)

(五月) 十二日 雨。

終日揮毫ス。外務省より山水草稿来ル。松岡来。又鎌田新兵衛来。大坂井上行元結、かもし其外、楚山先生行書状、住吉行書状托し候。此日、井上こゝ女、後藤ヨリの金子二円持来、預り置。

(五月) 十三日

女教集会、皆々来り候。下谷女教院開校祭典式、愈当廿三日と議定いたし候。

(五月) 十四日 晴。

午時ヨリ対州へ行、稽古ス。夫より万里家へ行、稽古して本多家へ行、稽古ス。夕景、帰殿ス。

(五月) 十五日

画稽古日。山田とみ、桐淵二人、風早愛子来。此日、祭典式習礼ニテ女教師一同稽古ス。大教院ヨリ松岡徳善、春日兩人出張ス。松岡時懋も来ル。此日、高林紹介高野かね女入門、入塾ス。

(五月) 十六日 晴。

終日揮毫ス。

(五月) 十七日 晴。

終日揮毫ス。

(五月) 十八日 晴。

日尾直子宅ニテ習礼也。千よ滝、長子行れ候。

(五月) 十九日

終日揮毫ス。

(五月) 二十日 雨。

画稽古日ニテ山田富女、風早愛子、細川政子来られ候。風早殿来られ候。

(五月) 二十一日 晴。

桐淵二人来、稽古ス。清烈院殿御祥忌ニテ祭典行せられ候。

(五月) 二十二日 晴。

女教院祭典ニ付、大取紛、皆々其こしらへニテ夢中也。女教講堂ニテ祭典式習礼ニテ、よし姫様、千よ滝、花蹊、女教師一統稽古ス。此朝ニテ冷泉栄子、此度之事相断候故、花蹊祓主ニ替ル。

*こしらへ(拵へ)

(五月) 二十三日 朝曇、午時より大晴。

女教院開校祭典、午後一時ヨリ始ル。

齋主 良姫 祓主 花蹊 典礼 直子 後取 千よ滝 花の 賛者 燕子 長子 仲子 装束懸 吟子 若よ 神饌掛 ゆう子 竹子 みつ 手長 長子始 直子、生徒十人

先祓式相済、神殿式相済、講堂ニ着座。夫より神幸式。此行列、女粧、実(り)つはにニ(衍)テ、役女尽打着也。夫ヨリ御鎮座式済、大和舞、八雲舞済、説教一座。七時、めて度相済候。

*りつは(立派) *打着(桂) *めて度(目出度)

明治七年五月廿三日 女教院開校祭典式次第書

大祓次第

第一 祓殿ヲ装束シ祓物ヲ設 装束掛勤之

次 祭祀官威儀ヲ整エ講堂ニ着座ス

左ニ齋主 祓主 後取二人 賛者一人 手長半隊 装束掛一人

右ニ典祓主ニ向ウ 賛者二人 手長半隊 装束掛二人

第一鼓

次 齋主 祓主以下ヲ率テ祓殿ニ就ク 着座講堂ニ同シ 典礼 後取ニ塩湯行事ヲ令ス

次 塩湯行事 後取勤之

神籬ニ迎ヒ右 左右ト塩湯ヲ懸ル 次 齋主方ニ向ヒ塩湯ヲ懸ル

次ニ典礼方ニ迎ヒ塩湯ヲ懸ル 次ニ参詣之人ニ迎ヒ塩湯懸ル

装束掛塩湯器ヲ請取

次 よるへの水ヲ正面え直ス

次 典礼 祓主ニ降神行事ヲ令ス

次 祓主進テ降神行事 後取 菅搔 後取 警蹕

神籬ニ迎よるへの水ヲ左右左ト懸ル

四拜八平手 齋主以下応之

祓主復座

装束掛祓物ヲ飾ル

次 典礼 祓主ニ祓詞ヲ令ス

次 祓詞 祓主祓物ニ迎フテ読

齋主以下警蹕有

祓主復座

次 大麻行事 後取勤之

神籬ニ迎ヒ行事 次 神殿

次 齋主之方ニ迎ヒ 次 典礼之方ニ迎ヒ

次 参詣之方ニ迎ヒ行事ス 装束掛請取

榊枝ヲ後取持テ神饌物祓フ後放つ

次 奏楽

神饌ヲ供ス 手長奉仕

次 詞祝 四拜八平手齋主以下同 祓主勤之

次 奏楽

神饌撒ス 手長

次 昇神行事 祓主 後取菅搔 後取警蹕

次 退座 二手 齋主以下応之

次 退座

右拜殿ニテ行之

神殿祭次第

第一 着座

次 散米行事 神殿ニテ行之終テ此器装束掛ニ渡ス 後取壺人

次 齋主降神行事 止テよるへの水ヲ神籬ニ懸ル 四拜八平手 菅搔 後取 警蹕 後取

次 奏楽

*神籬(ヒムロギ)

次 神饌ヲ供ス 手長勤之

終テ奏樂止

次 祝詞 齋主奏之 後取 四拜八平手 後取

奏樂

次 神饌ヲ撒ス 終テ奏樂止

次 昇神行事 齋主 菅搔 後取 警蹕 後取

次 退手 二ツ

次 退座

鎮祭次第

第一 齋主以下講堂神床前ニ進ム

次 祝詞 齋主奏之 後取 四拜八平手 後取

次 神幸次第

警蹕

塩湯 散米 榊ヲ持祓主 後取 尅人

御鏡 贊者三人載奉ル
奏樂 御靈代
御鏡 手輔六人

神部 同 同 同 童 齋主 後取

神部 同 同 同 童 典礼 神部 同 同 講中

次 齋主 御靈代鎮ル 後取 輔之

終テ祭座ニツク

次 奏樂

次 神饌幣帛ヲ供ス 手長

終テ奏樂止

次 祝詞 齋主奏之 後取 四拜八平手 後取

次 女教職順序拝礼 花蹊門人物拜ス

次 誓詞ヲ告ス 齋主勤之 後取 四拜八平手 後取

次 奏巫舞

次 説教

次 奏樂

次 神饌ヲ撒ス

次 奏樂中齋主進テ扉ヲ閉 後取 後取 輔之 終テ奏樂止

次 退手二ツ
退出

役附次第

齋主	打着緋袴	万里小路良子	*打着(桂)
祓主	打着袴	跡見花蹊	*打着(桂)
典礼	打着袴	日尾直子	*打着(桂)
	打着袴	小原燕子	*打着(桂)
贊者	同	伴仲子替之	
	同	木城花野	
	同	手長ノ長兼ル	
後取	打着袴	平田長子	
	打着袴	姉小路千世滝	*打着(桂)
		木城花野	*打着(桂)
神饌掛	紋付袴	最上猷子	
		神部兼ル	
		荻野吟子	
装束掛	同	加藤若代	
	同	貫輪竹子	
	同		
手長	同	日尾寿子	
	同	外二十人	
		神部兼ル	

翌廿四日廿五日小祭典行之

(五月) 廿四日

万里家より被伝候。独逸藤坪君より御報知有之候也。

(五月二十五日、日記ナシ)

(五月) 廿六日 晴。

終日揮毫ス。長子来ル。千よ滝、廿五日朝、よし姫様御共シテ下谷女教院へ行候処、ネツヒドク苦ク様子ニテ、暫休息所ニ臥居り候処、惣面え発シ物ニテ早々車ニテ帰殿いたし候。廿六日、

余程ヒドク苦候。

*御共(御供)

(五月) 廿七日 雷鳴ス。雨。

千よ滝、少々快方ニ相成候。最上猷子来ル。花蹊、終日揮毫ス。

(五月) 廿八日 晴。

終日揮毫。飯尾母、八蔵、猶江呼ニ来、帰り候。明日、皇太后宮、皇后宮、柳沢え行啓故也。此日、父さま銀座福田行れ候処、巴女、照女、昨夜帰東いたし候よし也。

(五月) 廿九日 晴、又雨。

十二時ヨリ人力車ニテ花山同様ニテ福田え行、種々此度之祭典之咄申聞候。大く難有り候。昼飯して万里家え行、稽古ス。夫より中山家え行、暫時御咄して帰り候。本多家え行、稽古して、六時帰殿ス。長子来。松岡□。

(五月) 三十日 朝雨、午後止、晴。

画稽古日。桐淵二人、山田富女、花野、井上吉次、正親町家令来。

(五月) 三十一日 晴。

風早愛子、稽古ニ来ル。長谷川珍水来ル。大坂井上ヨリ報知有。十円為替手形着ス。梅津教知来。

(六月)

六月一日 晴、夕大雨、雷鳴。

終日揮毫ス。万里家北篤弘入門ス。長子、大坂井上ヨリ文来。

(六月) 二日 晴。

終日揮毫ス。土屋邸内人入門頼みに来ル。住吉典ヨリ文来。蓮観院さまより文来。

(六月) 三日 晴。

終日揮毫ス。蒲生、此日より**講釈**に来ル。長子、富女、中川真一郎来。中島手本相頼候。下総香取渡辺先生え短冊三枚、書状出ス。住吉えも報知ス。

*講釈(講釈)

(六月) 四日 晴。

午後より万里家え稽古二行、夫ヨリ本多家え行。留主にて、夫ヨリ石山家え行、六字頃帰殿ス。

(六月) 五日 晴。

此日、寿様、父さま、千よさま、浜町中島座え成らせられ候。伊藤介夫、小石川渡辺石堂来。飯尾母来。西京吉野又蔵、同岩女来ル。長子、富女来ル。画稽古日也。

(六月) 六日 晴、大風。

此朝、高坂亀尾入門ス。終日揮毫ス。尼ヶ崎武右衛門来。渡辺重石丸来。ちよさま、桃姫さま、ちか女、愛治郎同道にて母さまの祥忌五回忌故、浅草墓所え参詣して観音え御口せられ候。五時、帰殿ス。

(六月) 七日 晴、大風。夜、地大震。

終日揮毫ス。尼ヶ崎武右衛門来。

(六月) 八日 晴、大風。

終日揮毫ス。尼ヶ**武右衛門**、大坂帰られ候二付、暇乞に来り候。蒲生来ル。

*尼ヶ武右衛門(尼ヶ崎武右衛門)

(六月) 九日 晴、大風。

牛込山片きく女来。駿河台山田来ル。万里家伴姫様御帰りにて、ため来ル。

(六月) 十日 曇、又晴。

(六月十一日、十二日、日記ナシ)

(六月) 十三日

綾小路長姫、金子健丸入門ス。大坂辻家より金子、書状来着。

(六月) 十五日 晴、雨。

画稽古日ニテ桐淵二人、風早、山田富女、花野来。花蹊、脚気の兆ニテ花野大ゐに驚、早速牛込遠田宅池田哥子ニテ処聞候とて早速かけ付くれられ候処、寿子留主中ニテ近辺ニテ聞、早速申来り候。

(六月) 十六日 晴。

早朝ヨリ父さま、花蹊、治女、牛込遠田氏へ行、診察相頼候処、脚気、治の方は少々かるき様子ニテ、薬ももらい早速帰る。此時、花野方え礼に行候。

(六月) 十七日

此日ヨリ食事小豆計外薬八服宛。此朝、愛治郎も少々脚気らしく候故、遠田へ行、診察相頼候処、脚気ニテ三人同食事也。此日ヨリ放業養生ス。

(六月) 二十二日

巴女来、二宿ス。此夜、遠田見舞候。当月中、麦計食スル様申候。薬は八服宛、小豆不堪食事ス。

*堪(絶)

(六月) 二十六日 雨。

朝、安来。神奈川県花形庄左衛門、趙子昂二服対持参いたし、払くれ候様頼、預置候。

*二服(二幅)

(六月) 二十七日 雨。

小河氏見舞ニ来ル。

(六月) 二十八日 雨。

松岡正親町家令来、四辻家ひさ姫さま入学頼来たり候。山田富女来。半日画。千よ滝さま、稲葉教正え談事ニ行れ候。此日、父さまト花蹊同道ニテ神田鍛冶町大垣屋え京都鳩居堂ニ面会ニ行。留主也。終日揮毫ス。

(六月二十九日、日記ナシ)

(六月) 三十日 大曇、大雨、大雷。地震。

下谷女教院ニテ大祓祭典也。千よ滝さま、斎主相勤られ候也。此日、画稽古日ニテ、大久保西光庵蓮瑞入門致され候。風早愛子、桐淵二人、山田富女来ル。此日、鳩居堂来、独乙ノ様子くわしく承り、先々大安心候也。

(七月)

七月一日 小雨。

終日揮毫ス。花野、長子、神奈川県花形、井上安之家内来。

(七月) 二日 晴。

小河家内来候。

(七月) 三日

終日揮毫ス。井上安家内来。長子来。外務省画十枚、長谷川え渡ス。

(七月) 四日 雨。

終日揮毫ス。大岸、文雄来。山田富女来。

(七月) 十五日 晴。

千よ滝事、山田時章、とみ女西京へ行レ候ニ付、同道致され候。此十一日頃、東京発足也。父さま、愛治郎、新橋鉄道迄見立ニ行れ候。

千よ滝より十八日出之書状廿一日夜着、船も大無難ニテ十六日午後四時出帆ニテ十七日朝六時神戸に着、夫より神戸より梅田迄岡蒸気ニテ着、夫ヨリ八軒家より乗船、此夜伏見小道具や二て一宿、十八日西京山本え当着のよし申来り、大く安心く也。

(七月) 二十日 晴。

此日より暑中休ニテ生徒帰させ候。

(七月二十一日〜二十四日、日記ナシ)

(七月) 二十五日 晴。

稽古日ニテ桐淵二人、西光庵、風早、花野、中井敬所家内、娘三人、外ニ照子連れ来り候。

(七月二十六日〜二十九日、日記ナシ)

(七月) 三十日 晴。

朝より良さま、桃さま、花蹊、万里さまえ暑中御見舞成らせられ候。五年ふりニテ通房さま御面談申上、実に御人のかわり候様よく御成遊し候。十時、帰殿候。此日より花野、女教院え引越候。

(七月三十一日、日記ナシ)

(八月)

八月一日より

此日、父様**延生日**祝いたし候。

*延生日(誕生日)

(八月) 二日 晴。

朝ヨリ父さま、花蹊、土御門さま連て大峰堂**ロウガイノマジナイ**頼ニ行候処、あやにく稽古中故、午後再来様ニ付、夫より芝飯尾へ行、酒肴ニテ昼飯して二時頃島屋へ行、暫して三字頃大峰堂へ行、**マジナイ**シテもらい候て、夫より父様は方々へ行候。私、益姫様は人力車飛して帰り候。

*ロウガイ(労咳) *マジナイ(呪) *マジナイ(呪)

(八月) 三日 晴。

茂安目見致し候。

(八月) 四日

此日、父さま、**山形治郎**、寿来り候。

*山形治郎(山形友治郎)

(八月) 五日 晴。

画稽古日ニテ桐淵二人、西光庵、風早さま来られ候。

(八月) 六日 晴。

朝ヨリ父さま、愛治郎、花印、芝金杉へ行。

(八月) 七日 晴。

(コノ日、記事ナシ)

(八月) 八日

(コノ日、記事ナシ)

(八月) 九日

西京え書状出ス。高橋かね女御奉公に來り候。母みづ連れて來り候。

(八月) 十日 晴、大風雨。

中山仲姫さま、御歸塾也。山形友治郎歸塾致し候。熊衛清子歸塾ニ候也。画稽古日ニテ桐淵二人、風早、蓮瑞、長子來り候。

(八月) 十一日 風。

池田徳雅、今戸え引越候也。北篤弘歸塾。

(八月) 十二日 晴、大雨。

此日より稽古初。万里伴姫様歸塾。井上こう來。文人奴吉來。長谷川十右衛門來り候。

(八月) 十三日

此日も千よ滝さまより便なき故、大く心配、又々郵便西京、又大坂え出ス。電信針ニテ差出候処、あやにくつかへ候て不出候也。

(八月) 十四日

午後四時より万里家え御稽古ニ行、六時歸殿ス。

(八月) 十五日 大熱暑。

画稽古日ニテ桐淵二人、蓮瑞さま御出也。朝ヨリ終日也。花の來り候。

(八月) 十六日 大熱暑。

放業。此夜、六毘沙え行、植木調歸り候。

(八月) 十七日 同断。

(コノ日、記事ナシ)

(八月) 十八日 同断。

此夜、新場財木町出火。

*財木町(材木町)

(八月) 十九日 同断、風無少モ。

此日午前十一時、不計千よ滝さま帰殿致され、皆々大驚、実に夢かと疑計也。速ニ先々安心いたし候。

(八月) 二十日 大熱暑、少風有。

此日、放業のつもりニテ、前日郵便ニテ相断候処、不残来られ候処、断申帰られ候。桐淵三人は稽古致され候。

(八月) 二十一日 大暴風。

終日揮毫。

(八月) 二十二日 晴。

終日揮毫。此日、千よ滝さまト同道ニテ山田へ行、日暮て帰殿。西京よりの荷物着。

(八月) 二十三日 雨、昼後暑。

朝大みに涼しく候。此朝、山田より荷物持帰り候。万里家え稽古へ行、[宇都](#)行書状通房様え相願候。

*宇都(勃都)

(八月) 二十四日 晴。

終日揮毫。村上豊祖来、会願居り候。有泉来。山田とみ女来。鎌田新兵衛より書状来、[机蒸気](#)ニテ差出候様申来り候。

*机(ママ) 蒸気

(八月) 廿五日 雨、大冷。

稽古日なから平田長子老人来。此日は大ゐにすゝしく、袴、単物ニ綿入羽織位也。

(八月) 廿六日 小冷。

風早愛子、御稽古ニ来られ候。北篤弘、母来られ候。井上こう、ゆか女来。別当井上来候。終日揮毫ス。花野来り候。

(八月) 廿七日 曇、大暑。

終日揮毫ス。長谷川十右衛門、山田時章来。

(九月)

(九月一日〜八日、日記ナシ)

(九月) 九日

築地二丁目三十九番地光田四郎方より独乙姉小路公義公ヨリ之書状伝来り候。

(九月) 十日

朝、父さま、右光田四郎方えいろく殿様御世話ニ相成遊し候御礼ニ行レ候処、病中にて臥居られ候へとも蔭屋にて面談いたされ候。稽古日。桐淵三人、花堤、花厓、花陽、対州奥方御出也。

(九月) 十一日

朝、良様山田え成らせられ候。花蹊同道也。細川え見舞に行、十二字帰殿。夫ヨリ父さま、千よさま、花印三人連にて買物ニ行、夕景帰殿ス。

(九月) 十二日

此夕、山田来ル。夜中、雨。

大坂辻氏より之預り一札扣

預り一札之事

合銀五貫九百拾六匁九分四厘也

但利足月五朱定

右之銀子儘ニ預り申処実正也 此入用之節元利

勘定無滞返済可申候 為後日証文依而如件

明治二年午正月

玉屋新三郎店

支配方〇

迹見花蹊殿

覚

一銀貳百九拾五匁五分 利足

但元銀九貫八百五拾目丑七月より

同十二月迄六ヶ月分月五朱

一同四拾九匁貳分五厘 利足

但同断 当月壹ヶ月分同断

一九貫八百五拾匁 元銀百兩代

ヱ拾貫八百九拾四匁七分五厘

百貳匁八分五厘がへ

此金九拾九兩下

錢八百五拾壹文

右之通ニ御坐候 以上

寅正月十九日 辻店〇

迹見様

右証文、外ニ一通ト明治七(年)九月廿二日大坂辻お八千さまえ返却いたし候。辻家よりハ右金子不帰候得共、追々辻家困窮之様子ニ候間、正ニ相帰し候也。

*帰し(返し)

(九月) 十三日

終日揮毫ス。大風雨。高塀なぞ御庭の樹木もた折、大困雜也。

*た折(倒れ) *大困雜(大混雜)

(九月) 十四日

終日揮毫ス。

(九月) 十五日 晴。

神田明神祭日ニテ御輿御渡御行列也。又囃屋台なそニテ大賑々しく候。画稽古日ニテ風早愛子、高野、花陽、宗奥方、長子也。山田富女も来り候。

(九月) 十六日 大風小止、昼後より大ニ暑。

此朝、身こしらへして深川扇橋土屋さまえ行かむといたし候へとも、何分大風雨ニテ不得其意、暫待居り候処、程よく止、夫ヨリ深川え出かけ候候。追々雨晴候て至極妙々也。土屋家え行候処、早速秋庭さまニ御めにかゝり、夫ヨリ御主人御婦夫共御めにかゝり、いろく新立の御襖認物いたし候。御襖十三枚全紙風松蔦、外ニ扇子三本認ル。夫ヨリ御酒ニテ長唱聞テ帰り候。夜八時也。

*こしらへ(拵へ) *候(候(衍)) *御婦夫(御夫婦) *長唱(長唄)

(九月) 十七日 雨。

終日揮毫ス。此日、桐淵操来。此日、山中節着致し、滞留ス。

(九月) 十八日 晴。

松岡、桐淵操、井上安五郎、井上こう女来ル。石川則義来。

(九月) 十九日 晴。

三時より万里家え行、又本多家え行、夫より帰殿ス。桐淵操来。山田富女、須田弘。宮内杜若内侍さま、よね女手本頼ニ来り候。水野浩溟来。金子借用ニ来り候。朝、最上猷子来、名弘会頼居り候。

(九月二十日〜三十日、日記ナシ)

(十月)

(十月一日) 三十一日、日記ナシ)

(十一月)

十一月一日 晴、少風。

朝八時ヨリ父さま、花蹊、春女三人ニテ、ステンションヨリ蒸気車ニ乗、十時。迅速ナルコト実ニ如神。十一時、横浜へ着、所々見物ス。三時、亦気車ニテ新橋迄返ル。五時、帰殿ス。此留主中、大坂井上千代、北川源兵衛来。来春是非々々下坂シテくれ候様頼参り候。

*気車(汽車)

(十一月) 二日 晴。

此朝、寿さま、父さま、千よさま三人浜町へ行れ候、終日也。長子、花の、女教師用ニテ淀稲葉家へ行レ候。私も同道頼来り候へとも留主番ニテ不参。

(十一月) 三日 天長節。晴。

良様、中山さま、桃さま、花山、父さま、はる、かね、団子坂菊見ニ成らせられ候へとも、花未咲よし也。長子、宗家田鶴来。染物三品相頼候。清書持参。山田時章来。大坂北川源兵衛来。

(十一月) 四日 晴。

稽古始、試筆。山形治郎兵衛来。文雄、早朝来ル。榊園竜眼堂事、千よ滝さま、花蹊二人、本石町むさしや伝兵衛え根さし買ニ行候。

(十一月) 五日 大雨、終日也。

画稽古日。長子、花厓来ル。

(十一月) 六日 晴。

終日揮毫ス。宮比講中式人、金子之義ニ付、来ル。松岡時懋来。此日、大坂北川暇乞ニ来。

*義(儀)

(十一月) 七日 晴。

此日、桐淵三人来。石山家より従四位さま京師へ御出立ニ付、式部寮官員別杯催され候ニ付、呼に來、二時より行。御客、坊城、橋本、五辻、四辻、慈光寺、沢三人、小西也。十二時迄遊ぶ。帰り候。此朝、大坂北川暇乞ニ來り候。根さし金子十式兩落手候也。

(十一月) 八日 雨。

(コノ日、記事ナシ)

(十一月) 九日 晴。

四辻寿姫、峰丸入門。桐淵花堂、稽古ニ來り候。細川政女来。夕方ヨリ石山さまへ御暇乞ニ行、夜十二時帰殿ス。松岡来ル。

(十一月) 十日 晴。

石山様、西京出立ニ付、ステシヨ迄父さま御見立ニ行レ候。此日、画稽古日ニテ桐淵花城、花竜、花堤来

*ステシヨ(ステンシヨ)

(十一月) 十一日 晴。

本郷え行。寿様、父さま、千よ滝、花蹊也。牛込菊女来。

(十一月) 十二日 晴。

午後二時より万里家え稽古ニ行。大風也。よし姫様、千広え成らせられ候。

(十一月) 十三日

(コノ日、記事ナシ)

(十一月) 十四日 晴。

生徒席書下書也。榊園榊来ル。綾小路従二位様御出也。三輪みさほ、富蔵、井上こう女来。

(十一月) 十五日 晴。

五十門人下書也。西京伏田五郎来。梅素書画会頼二来り候。

(十一月) 十六日 晴。

休業。松岡、増田簾吉来。午後より、千よさま、花印、花山三人連ニテ堀留丁字屋へ行。夫ヨリ島屋へ行、夕景帰殿ス。此日、一ツ橋外出火。

大坂井上那須より飴来ル。

(十一月) 十七日 晴。

午前十時、天子造兵司え御臨幸、門前御通行ニテ拝ス。二時迄水書。長子、愛子来。山田富女来。

(十一月) 十八日

大坂井上那須、儀助え返事出ス。住吉重威え返事出ス。本多対州、万里、土御門え郵便出ス。

(十一月) 廿五日

当日朝七時より生徒一統席書画。御座敷え席ヲ設ケ、生徒宮比たる行相ニテ実に美々敷、見物之人々も実に関心いたし候也。夜十二字迄。夫ヨリ酒肴ニテ二時過相済候也。馳走膳数九十人也。綾小路有長卿も御出ニテ席書遊し候也。

*宮比(雅) *行相(行装)

是前後、大多忙中ニテ不記。

(十一月二十六日～三十日、日記ナシ)

(十二月)

(十二月一日～三十一日、日記ナシ)